

# お知らせ

古い消火器お宅に眠っていませんか？

使用期限が過ぎた消火器を使用すると、暴発シケガをする危険性があります。自力または家族での処分が難しい方は、市社協にて古い消火器処分を代行いたします。（処分料金は、880円 税込）

対象者は あんしん・安全ネットワーク登録者

お問い合わせ：日立市社会福祉協議会 電話 87-7222  
 諏訪社会福祉協議会 電話 35-0731



消火器の使いかたはご存じですか？



## 施錠の習慣を身につけましょう

県内で、5月26日（金）～6月2日（木）までの1週間で住宅を狙った窃盗事件が24件ありました。これは全国で3番目に多い認知件数です。

被害を防ぐためには

- 鍵をかける
- 防犯フィルムや補助錠を利用する
- 雨戸を閉める
- センサーライト、防犯カメラの設置

など侵入されにくい対策をとることが大切です。

また、宅配業者の訪問を偽装するなどの手法で一般住宅に侵入する手口がみられます。このような侵入を防ぐために「置き配」などの非対面形式による宅配方法の活用をお勧めします。

巡回連絡とは、交番や駐在所の警察官がみなさんの家庭や事業所を訪問する事です。警察から身近で発生した事件や事故に関する情報を受け取ったり、ニセ電話詐欺や自動車盗、住宅窃盗の被害防止など、防犯に役立つアドバイスを聞いたりするとともに、地域のみなさんから警察に対する意見や要望、日ごろから不安に感じている地域の問題などをお伺いしています。



# すわふくし

NO. 142

令和5年6月20日発行  
 諏訪地区社会福祉協議委員会



発行責任者 荒井 俊  
 (35) 0731  
 suwashakyo@net1.  
 jway.ne.jp

## 令和5年6月21日から7月20日の活動予定

### ふれあいグループ

6月16日（金）地域包括連絡会議  
 6月22日（木）巡回安全サービス事業

### 介護支援グループ

6月10日（土）第1回認知症予防教室  
 （諏訪地区全体）  
 6月26日（月）第2回認知症予防教室

### 高齢者支援グループ

さわやかクラブ  
 6月22日（木）輪投げ・避難訓練  
 7月13日（木）卓上カーリング

### 子育て支援グループ

おもちゃライブラリー  
 6月23日（金）七夕  
 7月14日（金）お団子づくり

## 多賀北地区民児協（諏訪）

令和5年5月12日（金）「民生委員児童委員の日」にPR活動が

民生員児童員により実施されました

高齢者を見守ったり、困りごとを抱えた住民の相談を受けたりして、地域を支えているのが民生委員児童委員です。高齢化や孤立の深刻化などで支援のニーズが多様になり、その役割の重要性が増す一方、活動の負担感の増大といった理由で新たな担い手の確保が難しくなっています。

全国民生委員児童委員連合会は、民生委員児童委員の日と定めている5月12日から1週間を活動強化週間として毎年、全国の民生員児童員による組織的なPR活動を提唱しています。



活動強化週間の取り組み

- ① 民生委員活動スローガン「支えあう住みよい社会、地域から」の案内
- ② 民生委員の活動及び活動強化週間の取り組みについてのマスコミ導入の案内
- ③ 民生委員が地域住民向けに使用するPR等グッズの配布
- ④ 全民児連ホームページでの活動強化週間や民生委員活動のPR
- ⑤ 民生委員の理解促進を目的とした動画を活用した広報展開

※全民児連ホームページで詳細をご確認頂けます

「民生委員児童委員」という言葉は、ご存知の方が多くですが、残念ながらその活動内容については、十分に認知されていない状況と見ます。

「民生委員児童委員」の活動に触れる機会がすくないためか、その認知度はより低いものとなっており、上記のようなPR活動を継続的に行っていききたいと思っています。



# 地域包括支援センターたよひ

小咲園センター長 齋藤 智明

地域包括支援センター小咲園は、平成31年4月から高齢者やその家族、地域住民の方々が安心して暮らせるように、さまざまな支援を行っています。具体的には、以下のような仕事をしています。

## 1、専門職による相談支援

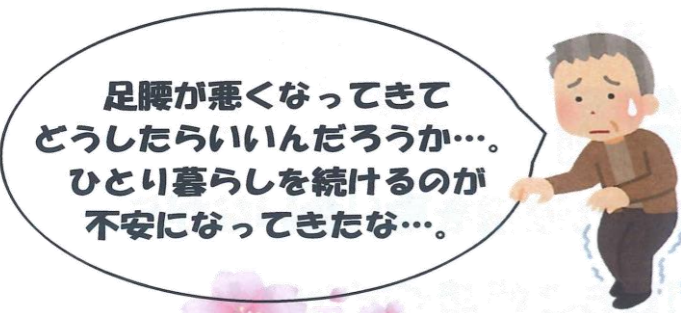
主任介護支援専門員、看護師、社会福祉士などの専門職が常駐しています。

これらの専門職は、地域住民の方々のお困りごとに応じて、適切なサービスや施設を紹介したり、相談に乗ったり、介護予防プラン作成しています。



## 2、介護や健康の相談

介護や健康に関する相談を受け付けています。例えば、介護保険の申請方法や利用方法、利用できるサービスの種類、在宅介護や施設入所について詳しく説明します。また、健康相談なども行っています。



## 3、認知症や虐待防止の権利擁護

認知症や虐待などの問題にも対応しています。認知症の方やその家族に対しては、病気の理解や対応方法、日常生活の工夫などをアドバイスします。

また、虐待されている可能性がある方やその周囲の方に対しては、虐待の事実確認や防止策、その支援などを行います。さらに、地域住民の方々の権利を守るために、法律相談や成年後見制度の紹介なども行っています。

## 4、地域のネットワークの構築

地域住民の方々がお互いに助け合えるようなネットワークを構築することも大切だと考えています。そのため、ボランティア活動や交流会などを通じて、地域住民同士のつながりを促進します。また、コミュニティー、民生委員児童委員や社会福祉協議会等の関係機関とも連携し、情報交換や協力体制を強化します。

以上は、地域包括支援センターの仕事の一部です。地域の方が安心して生活できるよう日々活動しています。何かお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。今後ともよろしく願いいたします。

連絡先 包括支援センター 32-7900  
 諏訪社協 35-0731

# 若年性認知症について

介護支援グループ長 中田 節子

去る5月23日「介護施設ひまわり」の社内研修で栗田病院の若年性認知症支援コーディネーターから「若年性認知症について」の講話があり、介護支援グループでも参加させていただきました。

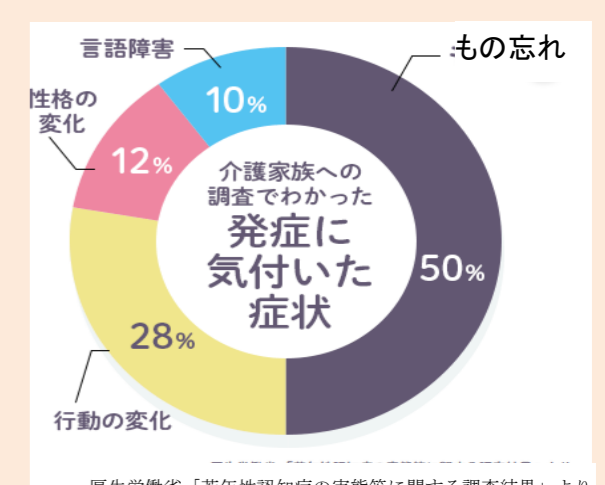
若年性認知症とは65歳未満で発症する認知症のことで、発症年齢は平均51.3歳で男性の割合が多いです。高齢発症の認知症と病理学的には同じですが、進行は早いです。初発症状が認知症特有のものではないため診断が難しく専門家の受診が遅れる傾向があるようです。

仕事や子育ての現役世代のため、就労継続、経済的な問題など家族の生活への影響が大きいです。主に、介護者が配偶者に集中する（子どもがヤングケアラーということも）など私たちにとって深刻な問題になっています。

茨城県の専門病院は栗田病院（那珂市）と池田病院（竜ヶ崎市）の2か所です。

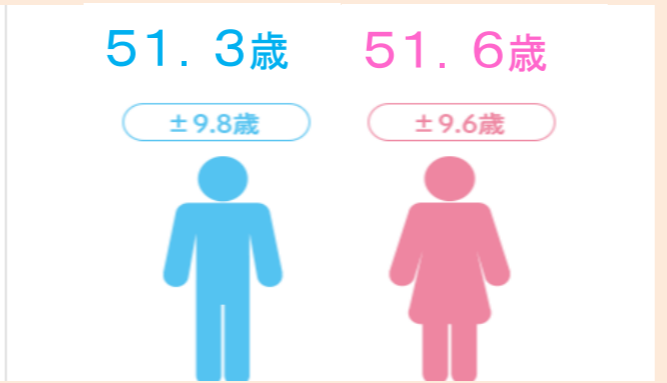
諏訪社協としては、若年性認知症への理解を深め本人、家族への温かい支援が必要と思いました。

貴重な機会を与えてくださいました「介護施設ひまわり」の皆様へ感謝いたします。



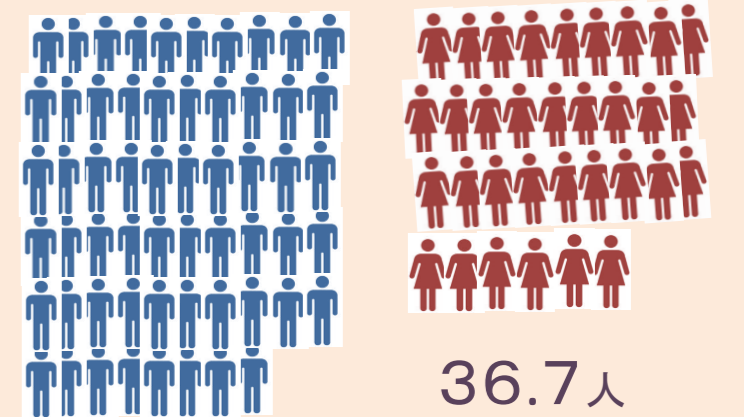
厚生労働省「若年性認知症の実態等に関する調査結果」より

## 平均発症年齢の男女比



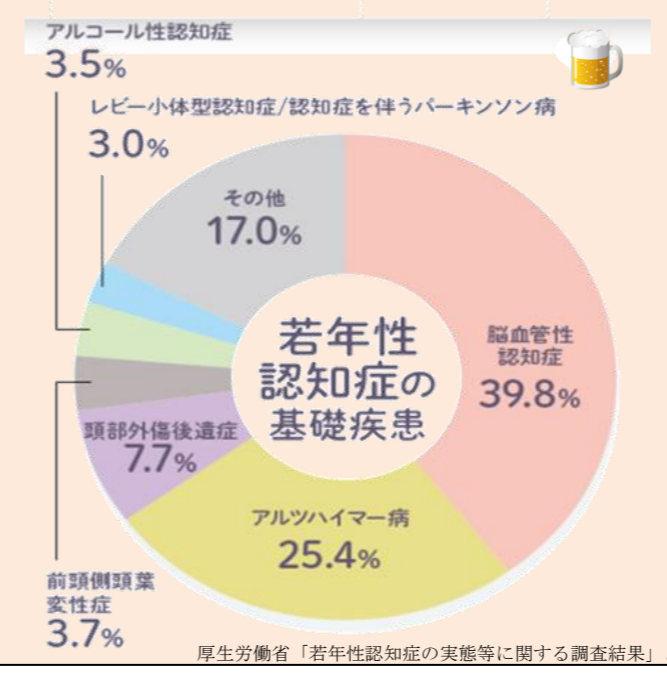
厚生労働省「若年性認知症の実態等に関する調査結果」より

## 若年性認知症の男女比 人口10万人あたりの有病率



## 57.8人 若年性認知症のチェック

- 作業に時間がかかるようになる
- 複数の作業を同時並行で行えなくなった
- 職場や取引先の名前が思い出せない
- 指示されたことが理解できない
- 大事な約束を忘れてしまう
- 探し物をすることが多くなる
- 考えがまとまらない
- 財布や物を置いたところを忘れてしまう
- お金の計算や漢字の読み書きが苦手になった
- 知っている場所の道で迷子になる
- 意欲がなくなる
- いろいろとやすくなる



厚生労働省「若年性認知症の実態等に関する調査結果」より